

VERIS™



Fusion Remote /Fusion Remote Black User's Manual

Manuel de l'utilisateur

Anwenderhandbuch

Manuale per l'operatore

Manual del usuario

取扱説明書

中文使用手冊

Antec
Believe it.®

Antecでは常に高品質を保つために商品の改良を行っております。そのためお客様のケースがマニュアルに示される詳細と若干異なることがありますが、ご使用上の問題はございません。こちらのマニュアルの出版時点では、記載されている詳細、説明は正確な内容になっております。

免責条項

こちらはAntecコンピューターケース専用のマニュアルになっております。マザーボード、周辺機器などの取り付けに関する詳しい情報は、お手持ちの製品に同梱されているマニュアルをご参照ください。

Fusion Remote/Fusion Remote Black- メディアセンターケース

Fusion Remote/ Fusion Remote Blackには、電源が搭載されておりません。お手持ちのシステムに対応可能な電源をお選びいただき、ケーブル等がマザーボード、周辺機器に十分届くかをご確認ください。弊社では、最新のATX規格に対応した省エネ設計のTruePower Trio、NeoPower電源をお勧めいたします。

ケース内の安全性に配慮して鋭い角等に対しては、対策を施してありますが作業をされる際には、十分に時間を取り必要な安全措置をとることをお勧めします。とりわけ見づらい場所への作業等には、むやみに急いだり、不注意な動作をしたり、必要以上に力を加えることはお止めください。予め十分に注意をした上で作業をしてください。

セットアップ

1. 平らで安定した面に、ケースを垂直に置きます。
2. つまみネジをトップパネルの背面から取り外します。パネルをケース後方にスライドさせ、ケースから取り外します。
3. ケース内下部後方には、電源マウントがあります。また、印の付いたコネクタ付きケーブル(USB、PWR等)、取り付け済みのI/Oパネル、ハードウェアを含むツールボックス(ネジ、スペーサー等)があります。

トリプルチャンバー構造

トップパネルを開けると、ケースが電源チャンバー、マザーボードチャンバー、およびHDDチャンバーの3つの個別チャンバーに分割されていることが確認できます。このトリプルチャンバー構造は各セクションからの熱と騒音を遮断し、これまでのデスクトップケースに比べて、より高い静音性と冷却性能を実現します。

マザーボードの取り付け

このマニュアルはCPU、RAM、または拡張カードの取り付けについては対象としていません。特定の取り付け指示およびトラブルシューティングについては、マザーボードのマニュアルを参照してください。

メインチャンパ内部のCPU取り付け位置横には、120mm TriCoolTMファンが2つ取り付けられています。こちらにマザーボードを取り付けます。

1. 開いている側を上に向けてケースを置きます。ドライブケージと電源が確認できます。
2. お手元のI/Oパネルが、正しくマザーボードに対応することを確認してください。ケースと一緒に提供されるパネルがマザーボードに対応していない場合、正しいI/Oパネルについてマザーボードメーカーにお問い合わせください。

3. マザーボードとスペーサーの穴を合わせて、どの穴が合うのかを覚えておきます。すべてのマザーボードが、設置された穴のすべてを使用するわけではありません。スペーサー用の穴は、一般的な配置になっていますので、機能面では影響がありません。（通常、穴は余分に用意されています。）
4. マザーボードを持ち上げて取り外します。
5. 真鍮のスペーサーを、マザーボードに合うネジ穴にねじ込みます。スペーサーを締めすぎないでください。一部のスペーサーは、便宜上、事前に取り付けられています。
6. マザーボードを真鍮のスペーサー上に置きます。
7. 付属のプラスネジを使って、マザーボードをスペーサーに取り付けます。これでマザーボードの取り付けが完了しました。

電源の取り付け

1. 電源を垂直にし、電源チャンバー底部の3つのゴムパッドの上に電源を置いてください。
備考: 底部にファンが搭載されている電源は、ファンが側面部の通気孔に向くように取り付けする必要があります。Fusion Remote Maxの電源マウント用の穴は、通常どおりでも、上下が逆でも取り付けられるように設計されています。
2. 電源を奥まで押し込み、マウント用の穴に合わせてください。
3. 電源に同梱のネジで電源を固定してください。
4. スライド式のブラックプレートの手回しネジを緩め開放部を広げてください。それにより必要な電源ケーブルをもう一方の側に通すことができます。
5. 開放部を閉じて手回しネジを閉じてください。それにより設計どおりのエアフローがケース内において実現されます。

電源とLEDの接続

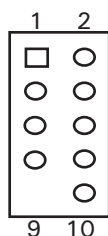
1. リセットスイッチ (RESET SWのラベル付き) を、マザーボードのRSTコネクタに接続します。これらのスイッチは極性 (プラス・マイナス) は関係ありません。
2. 電源スイッチ (POWER SWのラベル付き) を、マザーボード上のPWRコネクタに接続します。
備考: 初期状態では、フロントI/Oの電源スイッチは、LCDディスプレイモジュールに接続されています。これによりリモコンを使用してシステムの電源のオン・オフを操作できるようになっています。電源スイッチをLCDディスプレイを介さずに、直接マザーボードに接続する際は、リモコンによる電源の操作はできません。
3. 電源LEDコネクタを、マザーボード上のPower LEDコネクタに接続します。LEDコネクタは、色付の配線があるほうがプラス (+) になります。白または、黒の配線側は、マイナス (-) になります。LEDが点灯しない場合は、極性を入れ替えて接続してみてください。LED接続に関する更に詳しい情報は、お手持ちのマザーボードのマニュアルをご参照ください。
4. H. D. D. LEDと書かれたハードディスクLEDコネクタをマザーボード、またはRAIDカードのHDDアクティビティコネクタに接続します。

USBポートの接続

フロントUSBポートに取り付けられているケーブル上には、10ピンコネクタが1つあります。こちらは誤接続を防ぐため、Intel標準規格マザーボードの正しいヘッダーにのみ接続できる仕組みになっています。ヘッダーのピンの位置が合うようにして、この10ピンコネクタをマザーボードに接続してください。

注記: USBヘッダーピンのレイアウトについてはマザーボードのマニュアルで確認し、添付の表と一致することを確認してください。このIntel基準に一致しない場合、販売店にご相談ください。

マザーボードピンレイアウト



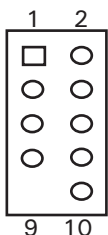
ピン	信号名	ピン	信号名
1	USB電源1	2	USB電源2
3	負の信号1	4	負の信号2
5	正の信号1	6	正の信号2
7	接地1	8	接地2
9	キー(接続なし)	10	空のピン

IEEE 1394 (FireWire®, i.Link®) ポートの接続

フロントIEEE 1394接続に取り付けられているケーブル上に、10ピンコネクタが1つあります。これは誤挿入防止キー付きのIntel標準コネクタで、正規のIntel標準マザーボードヘッダーでは誤って逆向きに接続することがないようにになっています。ヘッダーのピンの位置が合うようにして、この10ピンコネクタをマザーボードに接続してください。

注記: IEEE 1394ヘッダーピンのレイアウトについてはマザーボードのマニュアルで確認し、添付の表と一致することを確認してください。

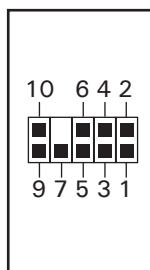
フロントパネルIEEE1394コネクタ用ピン割り当て



ピン	信号名	ピン	信号名
1	TPA+	2	TPA-
3	接地	4	接地
5	TPB+	6	TPB-
7	+12V (ヒューズ付き)	8	+12V(ヒューズ付き)
9	キー(ピンなし)	10	接地

オーディオポートの接続 (AC'97及びHDA)

フロントパネルスピーカーおよびマイクロフォン接続から出ている、Intel®標準10ピンAC'97コネクタ及びIntel®標準10ピンHDA (ハイディフィニションオーディオ) コネクタがあり、マザーボードに対応するいずれかの1つをマザーボードに接続することができます。以下の詳細をご参照ください。



ピン	ピン配置 (HD AUDIO)	ピン	ピン配置 (AC'97 AUDIO)
1	MIC2 L	1	MIC In
2	AGND	2	GND
3	MIC2 R	3	MIC Power
4	AVCC	4	NC
5	FRO-R	5	Line Out (R)
6	MIC2_JD	6	Line Out (R)
7	F_IO_SEN	7	NC
8	Key (no pin)	8	Key (no pin)
9	FRO-L	9	Line Out (L)
10	LINE2_JD	10	Line Out (L)

マザーボード及びサウンドカードの内部オーディオコネクタの位置を確認してください。ピン配置については、マザーボード、ビデオカードのマニュアルをご参照ください。

液晶ディスプレイ/ボリュームコントロール、リモートコントロール

Fusion Remote には、メディアセンターアプリケーションと連動する液晶ディスプレイ (LCD) が搭載されています。両モデルにはMCE対応の赤外線リモートコントロールレーザー (IR) が搭載されMCE/VISTAと連動します。

1. 接続する前に、電源がオフになっており、電源コードが抜かれていることを確認してください。
2. ディスプレイから出ている3ピンパワーケーブルを電源からのATX24ピンメインパワコネクタ上から出ている3ピンコネクタに接続します。
3. こちらのディスプレイには、4ピンの内部USBアダプターが付属しています。
(写真 1) 接続方法は以下のいずれかの通りです。:

- a. 外付け用USBコネクタを使用する際は、標準のUSBポートに接続してください。
- b. マザーボードのUSBコネクタのピン配置を確認してください。内部アダプターがマザーボードのヘッダーに合うかを確認してください。内部アダプターを外付けコネクタに接続してください。次にその反対の端にあるアダプターをマザーボードのUSBヘッダーに接続してください。



写真 1

4. 電源に電源コードを差し込み、電源を入れてください。
5. コンピューターを起動させてください。
6. 同梱されているドライバーCDを光学ドライブに入れてください。
7. ドライバーのインストール終了後、再起動してください。
8. ソフトウェアの仕様と機能
 - a. iMEDIAN HDを起動するために“go”ボタンを押してください。
 - b. マニュアル後面の表を参照してリモコン上のファンクションキーについて確認してください。
 - c. iMEDIAN HDの操作

iMEDIAN HDを操作するには4-wayボタンを使用してください。左と右のボタンを押し続けることで“Home”または、“Menu”スクリーンに移動できます。

- d. ローカルメディア
ユーザーは、リモコンを使用して音楽、ビデオ、写真をPCで楽しむことができます。iMEDIAN HDは、必要なインターナルコーデックをサポートしています。
- e. ネットワークメディア
ユーザーは、簡単に他のローカルPC上やインターネットラジオのメディアファイルを利用することができます。
- f. CD/DVD
ユーザーは、CDやDVDを鑑賞することができます。
- g. TV
ユーザーは、デジタル/アナログTVチャンネルをTVカードをPCに取り付けることで鑑賞、録画できます。
- h. その他のタスク
ユーザーは、RSSニュースフィード、世界都市時計、天気を確認することができます、ファイルの管理、アラームの設定、システムのシャットダウンができます。
- i. 設定
ユーザーは、GUI、メディアプレイバック機能などの様々な設定を変更、調整することができます。

ハードディスクドライブの取り付け

ハードドライブを2つ格納できるHDDチャンバー内部に、シリコングロメット付きのハードディスクドライブブラケットが1つあります。

1. ブラケット上面のネジ2つを外し、HDDブラケットをチャンバーから取り外します。
2. 付属の特殊ネジを使って、ハードドライブの左側(ハードドライブ正面から見た場合)をドライブブラケットに取り付けます。このとき、ネジは上部シリコングロメットを貫通する状態になります。
(写真2参照) **注記:** ネジを締めすぎないでください。ネジを締め付けすぎると、ラバーグロメットによる振動とノイズの低減性能が損なわれます。
3. HDD/ブラケットアセンブリをケース内に戻します。各ハードドライブが、ケースの底に取り付けられている2つのシリコングロメットに載った状態になっていることを確認してください。
4. 付属のネジを使って、ブラケットを固定します。
5. 電源上の4ピンMolexコネクタまたはSATAコネクタを探し、それをデバイス上の電源コネクタに接続します。



写真 2

5. 25インチデバイスの取り付け

こちらのケースには、1つの5.25”外部ドライブベイがディスプレイ(LCD)の下に取り付けられています。

1. フリップアップ式ドライブケージを取り外します。
2. 5.25インチデバイスをケージ下部のベイに挿入します。取り付けの際には、同梱のネジでデバイスの後部ネジ穴を使用して、取り付けてください。

備考: 上部5.25” ドライブベイはディスプレイ(LCD)専用です。こちらのベイにはデバイスを取り付けしないでください。

- 電源上の4ピンMolexコネクタまたはSATAコネクタを探し、それをデバイス上の電源コネクタに接続します。

冷却システム

120mm TriCool™ファン

Fusion Remoteには、マザーボードチャンバー内に120mm TriCool™ファンがあらかじめ2つ装備されています。ファンはCPUの真横に搭載されており、最新のCPUを冷却できるようになっています。**備考:** ファンの初期設定は[低]です。最高の静音コンピュータ環境を実現するには、この速度をお勧めします。

これらのファンには3段変速スイッチが搭載されており、静音、性能、または最大冷却のいずれかを選択できます。(下記の仕様を参照。) 電源からの大きな4ピンコネクタを、ファン上の4ピンオスコネクタに接続します。ファンはケースからの熱気を排気するように取り付けられています。電源からの大きな4ピンコネクタをファン側のメス4ピンコネクタに接続してください。

備考: 通常、ファンが動作する最低電圧は5Vです。Antec電源等にあるファンコントロールやFan-Onlyコネクタを利用する際は、ファン速度を最大冷却のHigh(高)に設定することをお勧めします。ファンコントロールデバイスは、ファンの速度を電圧を変化させることで制御を行います。最小で4.5Vから5Vの間で電圧がかかるため、TriCoolをMedium(中、パフォーマンス)あるいはLow(低、静音)に設定し、ファンコントロールデバイスに接続するとファンが始動しないことがあります。ファンコントローラーですでに減圧された電圧が更にTriCoolの回路にて5V以下になることがあります。

仕様:

サイズ: 120 x 120 x 25.4 mm
定格電圧: DC 12V
作動電圧: 10.2V ~ 13.8V

スピード RPM	入力電圧	エアフロー	静圧	音響雑音	入力
高 2000	0.24A (最大)	2.24 m ³ / min (79 CFM)	2.54 mm-H ₂ O (0.10インチ-H ₂ O)	30 dBA	2.9 W
中 1600	0.2A	1.59 m ³ / min (56 CFM)	1.53 mm-H ₂ O (0.06インチ-H ₂ O)	28 dBA	2.4 W
低 1200	0.13A	1.1 m ³ / min (39 CFM)	0.92 mm-H ₂ O (0.04インチ-H ₂ O)	25 dBA	1.6 W

下部エアインテーク (吸気)

HDDチャンバー真下のケース底部に吸気口があります。新鮮な冷却気が、通気孔からハードドライブを通してマザーボードに吹き込み、2つの120mm TriCool™ファンにより排気されます。

注記: Fusion Remoteを柔らかい面に置いたり、下部通気孔を塞ぐようなものの上に置いたりしないでください。

上部エアインテーク（吸気）

PCI拡張スロットの上のトップパネルに通気孔があります。 もっとも加熱するVGAカードを冷却するため、新鮮な空気がこの通気孔を通してマザーボードチャンバに吹き込みます。

注記： Fusion Remoteの上には、上部通気孔を塞ぐような物を置かないでください。

後部エアインテーク（吸気）

後部I/Oパネルの真上およびPCI拡張スロットカバー上に、新鮮な空気を送ってCPUとVGAカードの冷却効果を上げるための通気孔があります。

CPUエアガイド

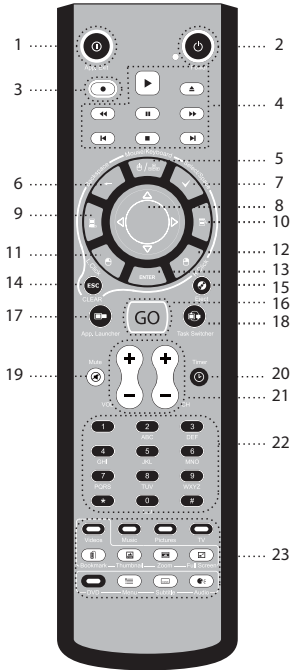
CPUエアガイドと後部エアインテークによりCPUクーラーに新鮮な空気が送られ、CPUの冷却効果を高めます。 CPUエアガイドは、各マザーボードのCPU位置に最適になるように調整できる、複数のセクションで構成されています。

電源エアインテーク

電源を冷却するための新鮮な空気を電源チャンバーに送り込む通気孔が、ケースの左側にあります。

注記： ケースの外側の左側面は、ファンからの排気を妨げないために、少なくとも1インチ(2.5cm)の隙間を空けておいてください。 この隙間がない場合、チャンバやCPUが加熱することがあります。

1. Application Exit・アプリケーションの終了：アクティブなウィンドウを閉じるか、iMEDIAN HDを閉じます。[ALT + F4]
2. 電源：PCの電源のオン・オフ（内蔵レシーバにも電源スイッチがあります。）
3. 録音録画
4. メディアコントロールグループ 1：再生/一時停止/停止/開く/戻る/進む/巻き戻し/早送り
5. マウス/キーボード：PADコントローラーのマウスとキーボードの切り替え
6. 後退：以前のメニューに戻る
7. 選択/スペース
8. PADコントローラー：マウスカーソルのコントロール及び4-way矢印キー
9. Windowsスタート
10. Windowsメニュー
11. マウス左クリック
12. マウス右クリック
13. エンター
14. エスケープ
15. 開/閉：DVDまたは、CD-ROMの開閉
16. “go”：クイックランチアプリケーションとiMEDIAN HDの起動
17. アプリケーションランチャー：アプリケーションの実行
18. タスクスイッチ：実行中のアプリケーションの切り替え[ALT-TAB]
19. ミュート
20. タイマー：電源のオン・オフとアラームスケジュールの管理
21. ボリューム/チャンネル：ボリュームとTVチャンネルの変更
22. カスタムコマンド用のカスタムボタングループ
メディアコントロールボタングループ2



Antec, Inc.

47900 Fremont Blvd.
Fremont, CA 94538
USA
tel: 510-770-1200
fax: 510-770-1288

Antec Europe B.V.

Stuttgartstraat 12
3047 AS Rotterdam
The Netherlands
tel: + 31 (0) 10 462-2060
fax: + 31 (0) 10 437-1752

Customer Support:

US & Canada

1-800-22ANTEC
customersupport@antec.com

Europe

+ 31 (0) 10 462-2060
europe.techsupport@antec.com

www.antec.com

© Copyright 2008 Antec, Inc. All rights reserved.

All trademarks are the property of their respective owners.

Reproduction in whole or in part without written permission is prohibited.

Printed in China.